

シンポジウム 参加費無料(事前申し込み制) 定員 100名

判断能力が不十分な人の 個人情報保護について考える

日時: 2016年9月11日(日曜) 13:00~17:00 (開場 12:30~)

場所: 全国町村会館 (東京メトロ永田町駅 徒歩1分)

<http://www.zck.or.jp/kaikan/access/>

家庭の問題を発見して支援につなげる地域の現場では、個人情報保護の問題にぶつかることが少なくありません。特に、認知症や障害によって判断能力が不十分な人々や子どもの場合、人権やプライバシーに配慮しながら、安全な暮らしをつくるにはどうしたらよいか、適切な支援の在り方が模索されています。シンポジウムでは、高齢者の経済活動の法的支援の在り方を糸口にして、この問題を皆様とともに考えてみたいと思います。

全体コーディネーター 成本 迅 (京都府立医科大学) ・ 山田 肇 (東洋大学)

話題 ① 認知症高齢者等の経済活動の法的支援

「高齢者が地域で暮らすには～金融機関との連携の大切さ～」 上林 里佳 (一般社団法人京都社会福祉士会)

「研究の概観－意思決定支援システムの法的基礎」 小賀野 晶一 (中央大学)

「見守り契約の法的構造」 亀井 隆太 (横浜商科大学)

「高齢者のための信託商品の開発」 福田 智子 (中央大学大学院)

「電子健康保険証をめぐるドイツの議論と日本への示唆」 石田 瞳 (追手門学院大学)

「中国における問題状況」 江 涛 (上海政法学院比較法学研究所)

話題 ② 支援に向けた個人情報保護法政策の現状と課題

「ニッポンの個人情報保護」 鈴木 正朝 (新潟大学)

「プライバシー・バイ・デザイン」 新保 史生 (慶應義塾大学)


「支援に向けた個人情報保護法政策の課題」 藤田 卓仙 (名古屋大学)

総合討論 安全な暮らしをつくる新しい個人情報保護法制の構築に向けて

座長 鈴木 正朝 ・ 山田 肇

ゲスト 板倉 陽一郎 (ひかり総合法律事務所)

登壇者 小賀野 晶一 ・ 新保 史生 ・ 成本 迅 ・ 藤田 卓仙

共催: 「高齢者の安全で自律的な経済活動を見守る社会的ネットワークの構築」プロジェクトPPMELT  <http://ppmelt.com/>
(「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」研究開発領域)

国立研究開発法人科学技術振興機構  社会技術研究開発センターRISTEX  <http://www.ristex.jp/pp/>

後援: 特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム(ICPF) <http://icpf.jp/>

お問合せ: 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学教室 E-mail ppmelt@koto.kpu-m.ac.jp (担当 太田)